

特色ある学校づくりに係る資料（令和2年度）

| | | | | | |
|----|----|-----|--------------|------|-------|
| 学番 | 44 | 学校名 | 県立新潟県央工業高等学校 | 校長氏名 | 木村 栄一 |
|----|----|-----|--------------|------|-------|

I 校長として目指している学校像

- 1 授業・学校行事・部活動等の教育活動をとおして、高い「技術力と学力」だけではなく、「豊かな心と相手を思いやる心」も育む。さらに、社会人として必要な「高い規範意識とマナー」を身につけた生徒を育成する。
- 2 現場実習・インターンシップ・企業見学・地域の技術者による授業・技術指導等により、地域の「技術力と魅力」を知り、地域に対する「愛着と理解」を深め、地域に貢献する強い決意を持った生徒を育成する。

II 学校の目標を実現するために必要な教師像

- 1 生徒の気持ち・保護者の気持ちを理解し、生徒の可能性を引き出す教師
- 2 授業等で、生徒の学力向上を図り、生徒の進路選択の可能性を広げる教師
- 3 部活動で、技術の向上や創意工夫の楽しさを教え、たくましさや社会性を身につけさせる教師
- 4 生徒の進路希望を実現するために、自らの指導力の向上を目指し、日々学び続ける教師

III オンリーワンスクールの取り組み

- 1 地域に貢献する人材を育成するために、生徒全員が対象の地域の企業等での現場実習またはインターンシップを実施する。さらに、受け入れ企業を増やす。
- 2 加茂農林高等学校・三条商業高等学校とともに、それぞれの学校の特色を活かし「環境・観光・防災」の視点でも、地域の活性化と地域への貢献を目指す。その他の地域の取り組みとも連携する。
- 3 金属加工業等が集積した県央地域からの強い期待に応えるために、上記の取り組み等により、地域の「技術力と魅力」を知り、「愛着と理解」を深め、地域に貢献する強い決意を持った生徒を育成する。

IV 本校の特色・本校での学び方

- 1 工業科一括で「くくり募集」を行い、1年生では共通の学習を行う。説明会や授業の中で、2年生からのコース選択の説明を受け、興味・関心・進路希望等に応じたコースを選択する。
- 2 選択するコースは、機械、電子機械、電子・情報、建築、土木に関する5コース（「機械技術」・「メカトロ技術」・「生産プログラミング」・「建築」・「都市防災」）の中の1コース
- 3 2年生からは、1年生で選択したコースで学習する。
- 4 どのコースでも、社会で必要とされている技術・技能を学ぶ。技術者として活躍できる人材になることを目指す。
- 5 平成20年には甲子園出場を果たし、平成24年度、平成29年度にも県スポーツ年間優秀校の表彰を受けた。多くの生徒が部活動に取り組んでいる。毎年全国大会にも多くの部活動が出場している。運動部・文化部ともに積極的に取り組み、将来のための多くの知識と経験を得る。